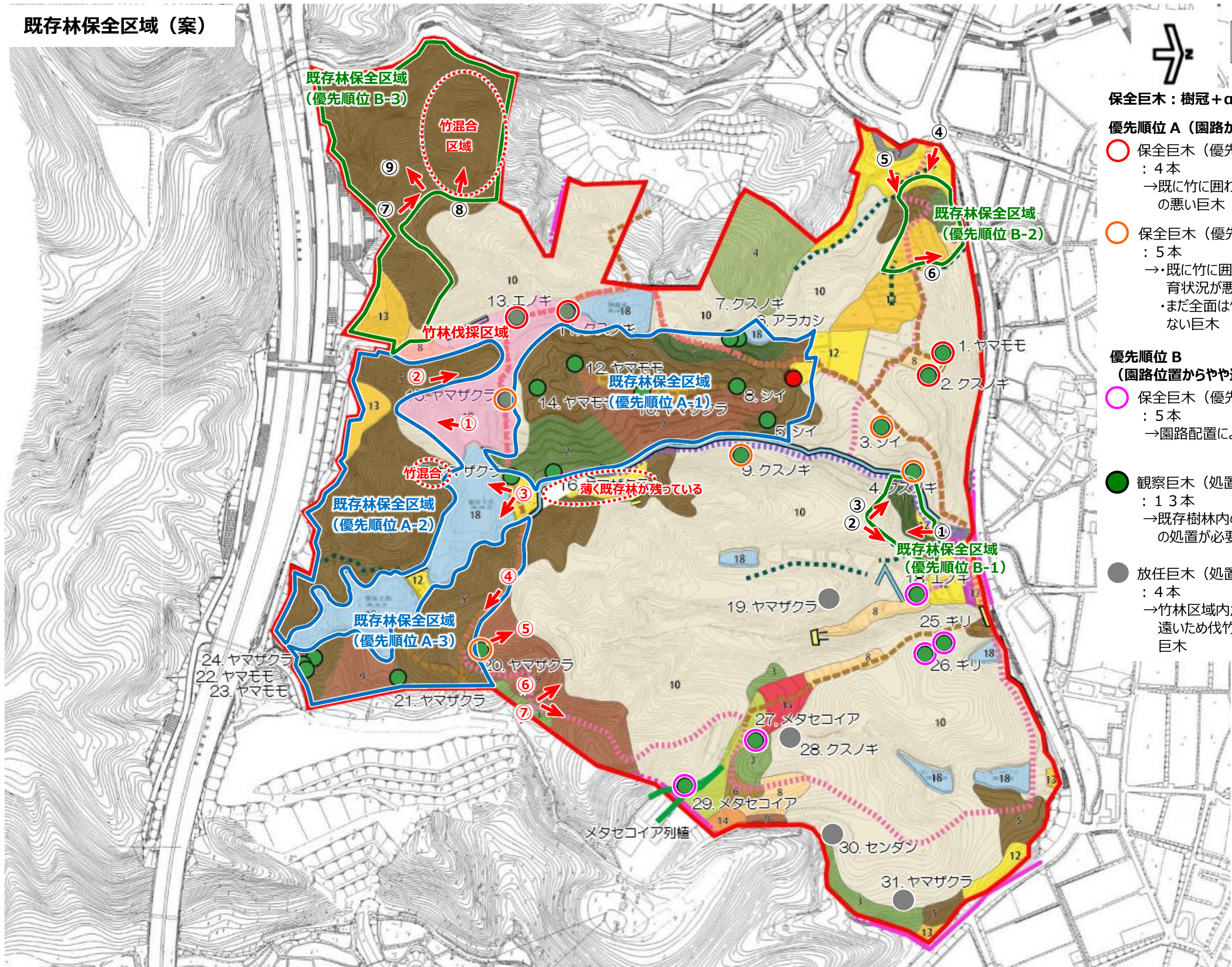


既存林保全区域 (案)



保全巨木：樹冠+aの範囲を伐竹

優先順位 A (園路から見える巨木)

○ 保全巨木 (優先順位 A-1)
: 4本
→既に竹に囲われて生育環境の悪い巨木

○ 保全巨木 (優先順位 A-2)
: 5本
→既に竹に囲われているが生育状況が悪くない巨木
・まだ全面は竹に囲われていない巨木

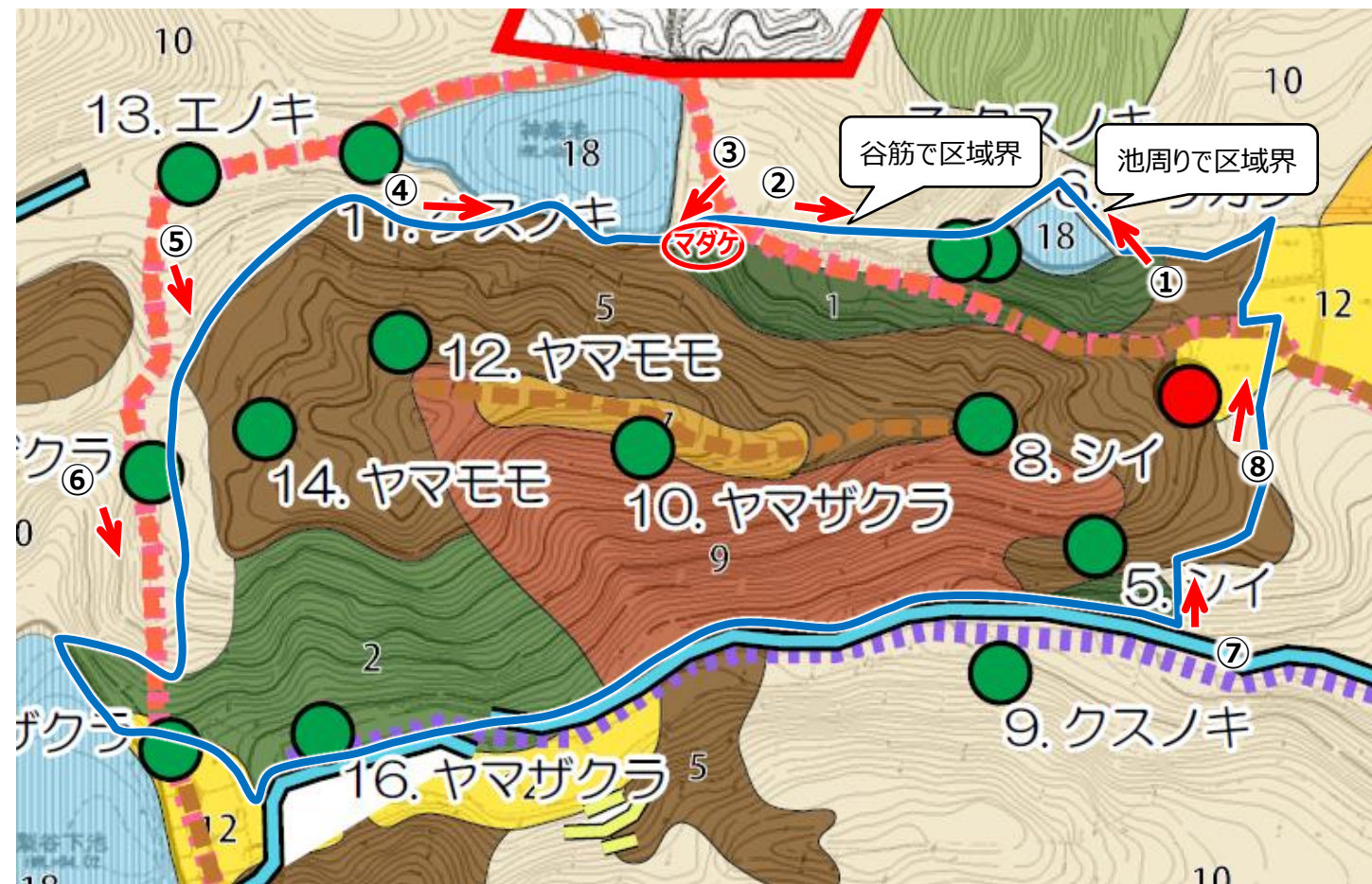
優先順位 B (園路位置からやや遠い巨木)

○ 保全巨木 (優先順位 B)
: 5本
→園路配置によっては保全巨木

● 観察巨木 (処置必要なし)
: 13本
→既存樹林内のため、伐竹等の処置が必要ない巨木

● 放任巨木 (処置せず)
: 4本
→竹林区域内かつ園路からも遠いため伐竹の処置をしない巨木

■ 既存林保全区域 (優先順位 A-1)



■ 既存林保全区域（優先順位 A-2、A-3）

① 谷部分は竹林が拡大（尾根筋で区域界）



③ A-2 区域



⑤ 谷部は竹林が拡大



② 尾根筋で概ね区域界



③ A-3 区域



⑥ 谷筋を中心に竹林拡大



④ 尾根筋で区域界



⑦ 既に竹と混合状態



■ 既存林保全区域（優先順位 B-1）



■ 既存林保全区域（優先順位 B-2）



■ 既存林保全区域（優先順位 B-3）

